

---

---

# 平成 28 年度 C S R 報告書

【対象期間：平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日】

株式  
会社 総合サービス

URL:<http://www.sougouservice.co.jp>

作成日：平成 29 年 4 月 1 日

---

---

豊かな緑ときれいな水を創る



株式会社 総合サービス

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町窪7063番地5

TEL:048-722-1501 FAX:048-722-1513

# 1. 事業所の概要

## (1) 事業者名及び代表者名

株式会社総合サービス  
代表取締役 金子史子

## (2) 所在地

本社：〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町大字小室 7063 番地 5

## (3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者 副社長 堀口信也 担当者 環境事業部部长 甘楽一也

連絡先 TEL 048-722-1501 FAX 048-722-1513

URL : <http://www.sougouservice.co.jp> E-mail: info@sougouservice.co.jp

## (4) 事業内容

産業廃棄物（保管・積替え含む）及び特別管理産業廃棄物の収集・運搬業並びに一般廃棄物の収集・運搬業、紙おむつの販売

## (5) 事業の規模

活動規模	単位	平成 26 年度 (H25. 10~H26. 9)	平成 27 年度 (H26. 10~H27. 9)	平成 28 年度 (H27. 10~H28. 9)
売上高	百万円	478	478	434
処理量	t	3,633	3,604	3,675
従業員	人	13	13	13
車両	台	15	15	15
事業場面積	m <sup>2</sup>	640.14	640.14	640.14
駐車場面積	m <sup>2</sup>	853	853	853

※事業年度は 10 月 1 日～翌年 9 月 30 日です。（平成 28 年 9 月 30 日現在）

※売上高は紙おむつの販売を含む全部門の売上高です。

※処理量は産業廃棄物、一般廃棄物及び専ら物を収集運搬した数量です。

※従業員は全従業員です。（平成 29 年 4 月 1 日現在）

※車両は運搬用トラック及び営業用車両を含みます。（平成 29 年 4 月 1 日現在）

## (6) 法人設立年月日

平成 9 年 2 月 7 日

## (7) 資本金

1,000 万円

## (8) 施設の状況

事業場面積 : 640.14 m<sup>2</sup> (本社事業所 640.14 m<sup>2</sup>)

産業廃棄物の種類	保管の面積	保管の高さ等
廃プラスチック類	8.2 m <sup>2</sup> ×2	1.5m (屋内) (8m <sup>3</sup> コンテナ×2 個)
紙くず	8.2 m <sup>2</sup>	1.5m (屋内) (8m <sup>3</sup> コンテナ×1 個)
木くず	8.2 m <sup>2</sup>	1.5m (屋内) (8m <sup>3</sup> コンテナ×1 個)
金属くず	8.2 m <sup>2</sup>	1.5m (屋内) (8m <sup>3</sup> コンテナ×1 個)
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	8.2 m <sup>2</sup>	1.5m (屋内) (8m <sup>3</sup> コンテナ×1 個)

(9) 収集・運搬車両一覧表

車両の種類	車 種	台 数	登 録
収集・運搬車両	塵芥車 (4 t)	2	産廃
収集・運搬車両	塵芥車 (2 t)	1	一般廃
収集・運搬車両	脱着装置付コンテナ専用車 (7 t)	1	産廃
収集・運搬車両	脱着装置付コンテナ専用車 (4 t)	2	産廃
収集・運搬車両	脱着装置付コンテナ専用車 (6 t)	1	産廃
収集・運搬車両	保冷車 (4 t)	1	産廃
収集・運搬車両	保冷車 (3 t)	2	産廃
収集・運搬車両	保冷車 (2 t)	1	産廃
収集・運搬車両	平ボディー車 (2 t)	1	産廃
営 業 車	ステーションワゴン	3	営業車
重 機	5 t	1	産廃
フォークリフト	2.5 t	1	産廃

(10) 収集・運搬車両低公害車導入状況

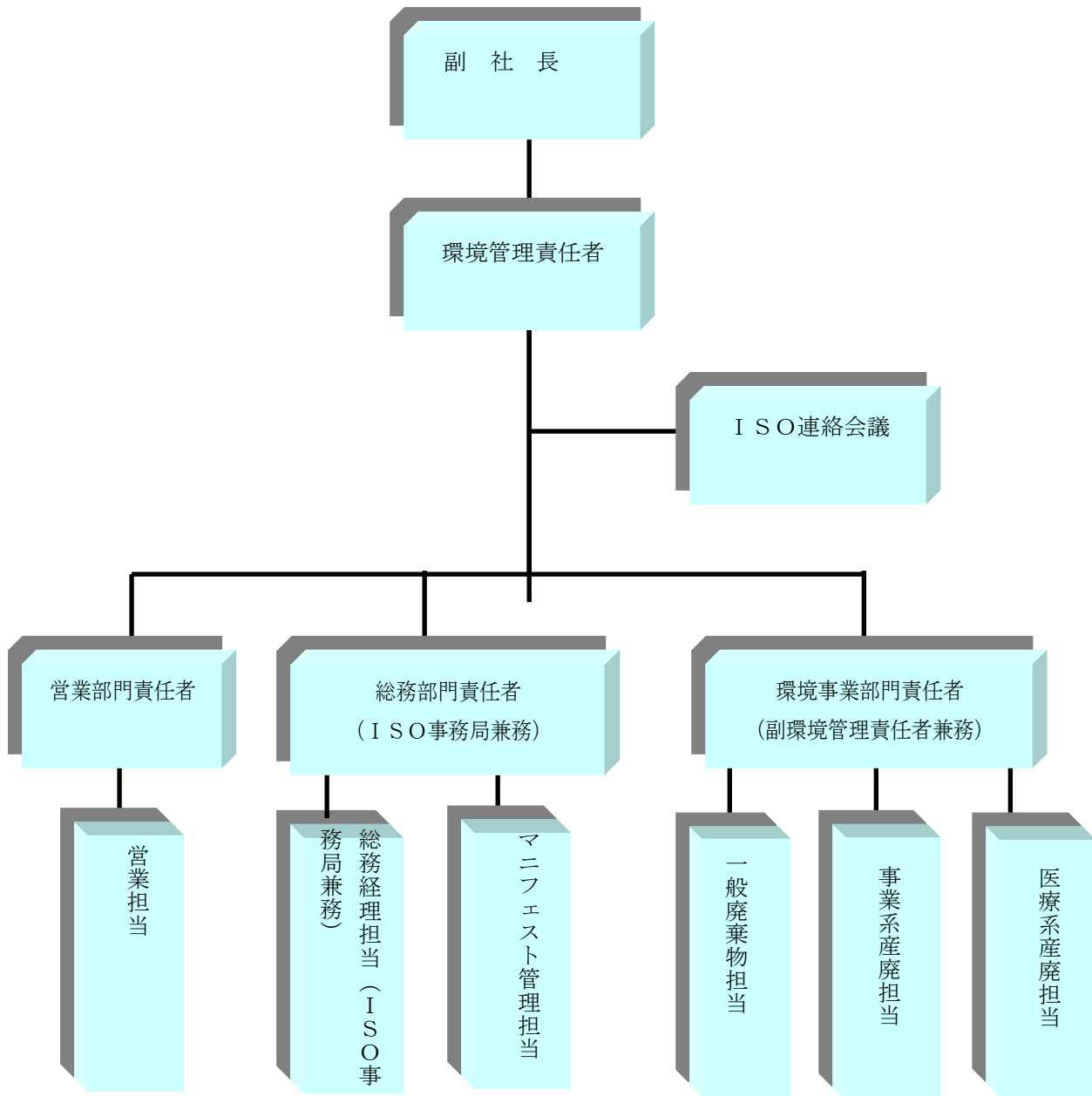
排 ガ ス レ ベ ル	車 種 及 び 最 大 積 載	台数	割合 (%)
全 保 有 車 両 ( 収 集 ・ 運 搬 車 )		12	100.0
平成 10 年度排ガス規制適合車	4 t 脱着装置付コンテナ専用車 (2.65t)	1	16.7
	4 t 塵芥車 (1.9 t)	1	
平成 15 年度排ガス規制適合車 平成 12 年度 PM-85%排ガス規制適合車	4 t 脱着装置付コンテナ専用車 (3.75t)	1	25.0
	2 t 平ボディー (2 t)	1	
	2 t 塵芥車 (2 t)	1	
平成 16 年度規制適合 平成 12 年度 PM-85%排ガス規制適合車	7 t 脱着装置付コンテナ専用車 (7.0 t)	1	8.3
平成 17 年度 PM-10%排ガス規制適合車	4 t 保冷バン (3.1 t)	1	25.0
	6 t 脱着装置付コンテナ専用車 (4.95 t)	1	
	3 t 保冷バン (3.0 t)	1	
平成 21 年度排ガス規制適合車		0	0
平成 22 年度排ガス規制適合車	4 t 塵芥車 (1.4 t)	1	25.0
	3 t 保冷バン (3.0 t)	1	
	3 t 冷蔵冷凍車 (3.0 t)	1	

燃 費 低 減 レベル	車 種 及 び 最 大 積 載	台数	割合 (%)
全 保 有 車 両 ( 収 集 ・ 運 搬 車 )		12	100.0
平成 27 年度燃費基準達成車	6 t 脱着装置付コンテナ専用車 (4.95 t)	1	33.3
	4 t 塵芥車 (1.4 t)	1	
	3 t 保冷バン (3 t)	1	
	3 t 冷蔵冷凍車 (3.0 t)	1	

※低公害車導入状況はトラックのみを対象としています。

※低燃費車導入平成 29 年度目標を 40%とします。

(株)総合サービス 環境組織図



## 2. 主な事業

### (1) 産業廃棄物（保管積替えを含む）及び特別管理産業廃棄物収集・運搬業、一般廃棄物収集運搬業 紙おむつ販売

#### ■産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物収集・運搬業許可証

許可都県	許可番号	廃棄物種類	許可年月日	有効期限	優良認定有無
埼玉県	01111046448	産業廃棄物（保管・積替）	H26. 4. 25	H33. 3. 18	優良
埼玉県	01151046448	特別管理産業廃棄物	H26. 5. 7	H33. 3. 30	優良
東京都	13-00-046448	産業廃棄物	H24. 3. 28	H31. 3. 27	優良
東京都	13-51-046448	特別管理産業廃棄物	H24. 4. 18	H31. 4. 17	優良
千葉県	01200046448	産業廃棄物	H24. 7. 18	H31. 7. 17	優良
千葉県	01250046448	特別管理産業廃棄物	H24. 7. 18	H31. 7. 17	優良
群馬県	01000046448	産業廃棄物	H28. 1. 11	H35. 1. 10	優良
群馬県	01050046448	特別管理産業廃棄物	H28. 1. 11	H35. 1. 10	優良
栃木県	00900046448	産業廃棄物	H28. 2. 24	H35. 2. 23	優良
栃木県	00950046448	特別管理産業廃棄物	H22. 9. 29	H29. 9. 28	優良
神奈川県	01402046448	産業廃棄物	H29. 3. 30	H36. 3. 9	優良
神奈川県	01452046448	特別管理産業廃棄物	H29. 3. 30	H36. 3. 29	優良
茨城県	00801046448	産業廃棄物	H22. 5. 1	H29. 4. 30	優良
茨城県	00851046448	特別管理産業廃棄物	H22. 5. 1	H29. 4. 30	優良
古物商許可		第 431060004018		H10. 4. 22 交付	
東京都産廃エキスパート取得		第 3-14-A 0 0 9 9		H26. 12 認定	
ISO14001 2015年度版				H28. 12 認定	

※茨城県許可については更新手続き中

※平成 23 年 7 月 14 日埼玉県において、産業廃棄物収集運搬業及び特別管理産業廃棄物収集運搬業の「優良性評価制度」の認定を受けて以来、一都六県での取得許可全てで優良認定を取得し、継続しています。

#### ■一般廃棄物処理業許可証

許可市	許可番号	事業区分	廃棄物種類	許可年月日	有効期限
さいたま市	第 306 号	収集・運搬	事業ごみ	H29. 1. 31	H31. 1. 31
志木市	第 28-2 号	収集・運搬	事業ごみ	H28. 4. 1	H30. 3. 31
伊奈町	第 16 号	収集・運搬	事業ごみ	H28. 4. 1	H30. 3. 31

■産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物収集・運搬業許可内容

許可都縣市	埼玉県	東京都	千葉県	群馬県	栃木県	神奈川県	茨城県
許可品目							
廃プラスチック類	※●(保積)	※●	※●	●	※●	※●	※●
紙くず	●(保積)	●		●	●	●	●
木くず	●(保積)	●	●	●	●	●	●
汚泥	●		●	●	●	●	●
金属くず	●(保積)	●	●	●	●	●	●
廃油	●	●	●	●	●	●	●
廃酸	●	●	●			●	●
廃アルカリ	●	●	●			●	●
燃えがら	●		●		●	●	●
ガラスくず陶磁器くず	※●(保積)	※●	※●	●	※●	※●	※●
動植物性残さ	●		●			●	●
がれき類	※●				※●		※●
繊維くず						●	
ゴムくず						●	
感染性廃棄物	●	●	●	●	●	●	●
特管廃油(揮発性)	●						
特管廃油(有害物含む)	●						
特管汚泥(有害物含む)	●						

注1：※印は石綿含有産業廃棄物を含む。

注2：埼玉県許可の廃プラスチック類及びガラスくず陶磁器くずの保管積替え許可については、石綿含有産業廃棄物を除くものに限る。

注3：許可年月日は許可を更新した日付です。

注4：埼玉県の特管廃油及び汚泥の有害物とは、トリクロロエチレン及びテトラクロロエチレンの2種類です。

(2) CSR報告書の対象期間

平成28年度(平成27年10月1日～平成28年度9月30日)

※CSR報告書に関する年度の表記は、通常の会計年度の表記と異なります。

### 3. 環境方針

---

#### 基本理念

私たち株式会社総合サービスは、産業廃棄物収集・運搬業を通じて環境創造企業としての自覚を持ち、地域しいては地球環境の保護に努めてまいりましたが、ISO14001の認証取得を契機により効果的な活動を行うことにより循環型社会の実現と環境の継続的改善に貢献することを目指します。

#### 環境方針

1. 環境に配慮した産業廃棄物収集・運搬業への参画の為、お客様の要求を満たす産業廃棄物処理のサービスを提供します。
2. 環境目標を設定し、その達成を目指すとともに、当社のパフォーマンス向上の為環境マネジメントシステムを継続的に改善します。  
産業廃棄物収集・運搬プロセスを絶えず見直し、環境に配慮したサービスとして、汚染の予防（エネルギー使用の改善、お客様への分別・保管、リサイクル処理の提案及び協力依頼による循環資源の再生利用推進拡大、クレームを削減しての効率改善等）及び環境保護を、改善活動を通して図ります。
3. 企業活動に関連した環境上の法的要求事項及びその他の要求事項を順守します。
4. お客様の諸活動の情報を先取りし、迅速な改善を図り、目標達成に貢献します。
5. 以上の事を組織で働く又は組織のために働くすべての人に周知します。

平成 28 年 4 月 1 日(初版)

株式会社総合サービス 取締役副社長 堀口信也

## 4. 環境事業活動計画書及び実績、評価

### (1) 2015年度(2015年10月～2016年9月)環境事業活動計画及び実績

環境方針		1. エネルギー使用を改善する。 2. お客様への分別・保管、リサイクル処理の提案及び協力依頼による循環資源の再生利用の推進拡大。 3. クレームを削減して効率を改善する。 4. カーボンオフセット商品及びグリーン購入を拡大継続してCO <sub>2</sub> 削減につなげる				
No.	環境目標	具体的内容・手段	目 標	区 分	合計／平均	
		目標数値				
1	ドライバーの運転技術の改善／小集団活動の推進、監視・測定による安全運転・エコドライブの推進により、軽油使用料原単位を対前年比1%削減	トラスパーチーム毎の小集団活動を推進/デジタコ、ドライブレコーダーの活用による安全運転の推進	1回/月開催	目 標	12回	
				実 績	12回	
				判定 (○×)	○	
			前年平均実績 16.47ℓを2015年度目標 16.31ℓ (対前年1%減)	対前年比1%減	目 標	16.31
					当年実績	15.56
					前年実績	16.47
			判定 (○×)	○		
2.	循環資源の再生利用の推進拡大。中でも機密書類のリサイクル処理に注力。(再生資源物の拡大) 対前年比1%増。新規顧客1件/月獲得	機密書類リサイクル処理推進/新規顧客獲得/優良事業所の維持	新規顧客獲得1件/月	目 標	12件	
				実 績	13件	
				判定 (○×)	○	
			再生資源物対前年実績 285.5tを2015年度目標 288t (対前年1%増)	対前年比1%増	目 標	288.0
					当年実績	284.7
					前年実績	285.5
			判定 (○×)	×		
3.	安全・品質に配慮した収集運搬の推進/事故・クレームの発生抑制の推進(クレーム件数の削減)	クレーム発生抑制を推進する。/回収作業の危険箇所の洗い出し/契約の継続を確認する。	発生件数1件以下/月(交通事故含む)	目 標	0件	
				当年実績	0件	
				前年実績	4件	
				判定 (○×)	○	
4.	カーボンオフセット商品の利用及びグリーン購入の推進によるCO <sub>2</sub> 削減	継続的することによりCO <sub>2</sub> 削減に取り組む	具体的な目標はないが適用範囲を広げていく			

該当部門長コメント ・環境目標のNo.1 及びNo.3 は基本的に前年目標を継続する。No.2 の環境目標は循環資源の中でも機密書類に絞り込み取扱量の拡大を目指す。また全体の中での新規顧客の獲得を推進する。



(2) 2015 年度環境事業活動に対する評価

No.	2015 年度上期	2015 年度下期
1	<p>●小集団活動は目標通り毎月実施。エコドライブの意識は徹底されてきている。ドラレコやデジタコを使用した安全運転指導の継続により事故の低減につながっている。</p> <p>●上半期の平均燃費は 15.30/t であり、目標の 16.310/t を大きくクリアした。これは3月の給油量が4月頭にずれ込んだことも良いほうに影響していると考ええる。通年で確認したい。</p>	<p>●小集団活動は目標通り毎月実施。エコドライブの意識は徹底されてきている。ドラレコやデジタコを使用した安全運転指導の継続により事故低減につながっている。</p> <p>●通期の平均燃費は 15.560/t であり、目標の 16.310/t をクリアした。</p> <p>これは小集団活動などを通じての教育や、ドライバー各自の意識向上の結果と考える。しかしそろそろ限界に近づきつつあると感じられるが、この目標は継続する。</p>
2	<p>●優良事業所の認定は引き続き維持されている。</p> <p>●新規顧客獲得は、上半期実績で6件と目標を達成できた。●再生資源物の上半期実績は 145.9t で通期目標の 2 分の 1 である 144.0t は達成できた。引き続きドライバーによる分別の提案や機密書類処理を推進する。</p>	<p>●今期中に、群馬県の産廃及び特管産廃、栃木県の産廃それぞれの許可を更新したが、すべて優良事業所の認定は引き続き維持されている。</p> <p>●新規顧客獲得は、下期実績は 6 件と目標を達成できた。</p> <p>●再生資源物の通期実績は 284.7t で通期目標をわずかに下回った。今後は金属の分別の提案や機密書類処理を推進する。</p>
3	<p>●小集団活動によるドラレコやデジタコを使用した指導などにより、上半期は交通事故0を達成。また得意先からのクレームも発生していない。</p> <p>●3月末売上実績対前年同期比は 92.1% と低迷している。これは鉄・非鉄の相場下落による有価物販売額の減少(対前年比 40.2%)及び紙おむつの販売の減少などが主な要因である。鉄・非鉄の相場は如何ともしがたい。</p>	<p>●小集団活動によるドラレコやデジタコを使用した指導などにより、通期で交通事故0を達成。また得意先からのクレームも発生していない。</p> <p>●今期売上見通しは対前年同期比は 91.4% と減収となる。これは紙おむつの販売の減少や、有価物販売額の減少などが主な要因である。鉄・非鉄の相場は如何ともしがたい。</p>
4	<p>●カーボンオフセット認定商品及びグリーン購入の利用拡大については、決まった事務用品に限定されている。これについては継続項目として取り組んでいく。</p>	

(3) 2016年度(2016年10月~2017年9月)環境事業活動計画

環境方針		1. エネルギー使用を改善する。 2. お客様への分別・保管、リサイクル処理の提案及び協力依頼による循環資源の再生利用の推進拡大。 3. クレームを削減して効率を改善する。 4. カーボンオフセット商品及びグリーン購入を拡大継続してCO <sub>2</sub> 削減につなげる			
No.	環境目標	具体的内容・手段	目標	区分	合計/平均
		目標数値			
1	ドライバーの運転技術の改善/小集団活動の推進、監視・測定による安全運転・エコドライブの推進により、軽油使用料原単位を対前年比1%削減	ドラスパーチーム毎の小集団活動を推進/デジタコ、ドライブレコーダーの活用による安全運転の推進	1回/月開催	目標	12回
				実績	
				判定(○×)	
		前年平均実績 15.560を 2016年度目標 15.400(対前年1%減)	対前年比1%減	目標	15.40
				当年実績	
	前年実績	15.56			
		判定(○×)			
2.	循環資源の再生利用の推進拡大。中でも機密書類のリサイクル処理に注力。(専ら物の拡大)対前年比1%増。新規顧客1件/月獲得	機密書類リサイクル処理推進/新規顧客獲得/優良事業所の維持	新規顧客獲得1件/月	目標	12件
				実績	
				判定(○×)	
		専ら物対前年実績 284.7tを 2016年度目標 287.6t(対前年1%増)	対前年比1%増	目標	287.6
				当年実績	
	前年実績	284.7			
		判定(○×)			
3.	安全・品質に配慮した収集運搬の推進/事故・クレームの発生抑制の推進(クレーム件数の削減)	クレーム発生抑制を推進する。/回収作業の危険箇所の洗い出し/契約の継続を確認する。	発生件数1件以下/月(交通事故含む)	目標	0件
				当年実績	
				前年実績	0件
				判定(○×)	
4.	カーボンオフセット商品の利用及びグリーン購入の推進によるCO <sub>2</sub> 削減	継続的することによりCO <sub>2</sub> 削減に取り組む		具体的な目標はないが適用範囲を広げていく	

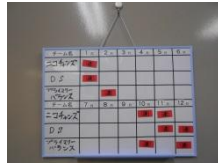
#### (4) 教育訓練

従業員全員のレベル向上及び緊急事態に対応するため、計画的に従業員教育及び訓練を実施しています。

##### 【教育事例】



外部講師を招いての  
エコドライブ講習  
(必要時実施)



小集団活動の結果  
公表掲示  
(月1回実施)



感染性廃棄物取扱時の  
針刺し事故防止訓練  
(年1回実施)



火災発生時の消火活動訓練  
(年1回実施)



#### (5) 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社の事業活動に関し、適用される環境関連法規は、廃棄物、車両・運送、各市環境条例などです。

また法令等の改正の状況を把握するため、総務省法令情報提供システムなどを利用し、常に最新の法令等を確認しています。

当社はこれらの法律及び条例に基づき適正に事業活動を行っており、過去5年間において違反や関係機関からの指摘、また訴訟や苦情に関してもありません。

平成28年9月13日

株式会社総合サービス 取締役 副社長 堀口信也

#### (6) 全体としての評価及び見直し

環境活動計画は、環境方針に基づき設定されており、活動に実態や計画達成度もほぼ達成されている。

特意的を絞った計画を立てていることが高い達成率につながっていると考えられる。

問題点としては人的資源が事業規模を拡大するうえでのネックとなっている。

今後とも一人ひとりのスキル向上の為社員教育を計画的に実施していく。

また廃棄物全体の市場縮小が想定されるため、事業の柱を増やす必要がある。

以上